

倫理 第6回「ギリシャ思想③ アリストテレスとヘレニズム思想」

○今回のポイント

2 編 1 章 ⑤ 現実主義的なあり方—アリストテレス (教科書 p.32～)

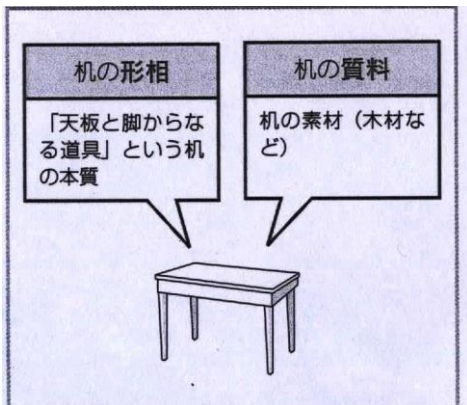
イデア論批判 形相と質料

・ [① _____] のイデア論批判

→ プラトンの立場では事物の本質(イデア)は個物を超越しているが、アリストテレスの立場では事物の本質は個物に内在している。

↓

・ アリストテレスは形相(エイドス)と質料(ヒュレー)で、真の实在を証明しようとする。



- ・ [② _____] …事物に内在し、それが「何であるか」を規定する本質。
- ・ [③ _____] …素材という意味。個物が何であるかを規定するエイドスと結合して個物を作る。

最高善と観想的生活

・ 幸福＝あらゆる人間の最終目標＝理性の活動を完成すること＝最高善

・ 人間の生活

- a. 享樂的生活…快樂の善
 - b. 政治的生活…名譽の善
 - c. [④ _____] 生活…知恵の善
- ◎ もっとも望ましい「最善なるもの(理性)がそれに固有な徳を備えて
する活動」 ※観想…真理を純粹に考察すること。

知性的徳と倫理的徳

- 魂
- ・ 理性的な領域 → [⑤ _____] …観想的生活に即した徳 (例: 知恵、思慮、努力)
 - ・ 感情、欲望の領域 → [⑥ _____] …過度と不足の両極端を避ける [⑦ _____] を選んで習得する習性的徳。

☆アリストテレスは数多の倫理的の中から正義と友愛を重視!

「⑧ _____」…ポリスを離れて人間の生活は成り立たない!

※共同生活を理性で結びつける原理が正義であり、情意で結びつける原理が [⑨ _____] である。

正義

- [⑩ _____] …すべての市民がポリスの法を守ること
- [⑪ _____] …状況に応じた正義。公正をいかにして実現するか。
 - ・ [⑫ _____] …個人の地位・能力・功績に応じて報酬や名譽を配分
 - ・ [⑬ _____] …利害得失の不均衡を調整する

2 編 1 章 6 幸福をめぐる問いーヘレニズムの思想

ヘレニズム時代

(1) [14] とは何か

マケドニアのフィッリポス 2 世のギリシャ全土の統一&アレクサンドロスによる東方遠征



ヘレニズム文化…ギリシャ文明と東方(オリエント)文明の融合により 普遍的性格を帯びた文化。

(2) コスモポリタニズムと個人主義の二面性

ポリスの生活では公的生活と私的生活が一致していたが、ポリスの崩壊により 広大な世界国家の一員として生きるようになる。そのため、人間はすべて世界市民として同胞であり平等であるという [15] と、ポリスという拠り所を失ったことにより幸福を個人的・内面的な自由と平安に求める [16] の二面性が生まれた。

禁欲主義 ストア学派

(1) ストア学派の特徴

- ・ [17] が創始
- ・ [18] …欲望、恐怖、怒りなどの情念(パトス)に動かされることのない自由な境地 ([19]) を追求。
- ・ 宇宙に対するロゴスの支配 ⇒ 「[20]」

(2) 古代ローマにおける様々なストア派の人々

- ・ キケロ…自然法思想を展開。カエサルの政敵。ギリシア思想とストア学派を折衷した思想。
- ・ セネカ…理性を重視。ネロ帝の家庭教師・政治顧問。「人生の短さ」や「心の平静」について論じる。
- ・ エピクテトス…神への崇敬と恭順を説く。神の摂理に任せ運命に服従、精神的自由な生活を送るべきと説く。
- ・ [21] …『自省録』。万物が変化流動し、業績も名誉も記憶も全てが忘却される無常な時の流れの中で、与えられた運命を愛し、自己の義務を果たす所に生きる道を見出した。

快楽主義 エピクロス学派

(1) エピクロス学派の特徴

- ・ エピクロスが創始
- ・ [22] …肉体的な快楽ではなく、魂の平安([23]) を追求
⇒ 政治・社会から距離を置く 「[24]」

(2) エピクロス学派の死生観 ～[25]～

死を経験した者はいない。死がどのようなものかは誰にも分からない。そんなものを心配しても仕方ない。



死んだら原子の集まりに過ぎない人間はチリのように離散してしまう。死を考えることなどできない。



死はアトム(原子)の離散に過ぎない



死を恐れるな！